

綾中学校 学校便り

「挑戦」

「自律」

「貢献」

綾フライド

～ふるさと綾を愛し、ふるさとに誇りを持つ生徒～

2024. 7. 18

1学期終了とパリオリンピック・パラリンピック！

不安が入り混じっていた始業式の表情と比較すると、1学期終了式を控えた現在では生徒に頼もしさすら感じるようになりました。この4か月間、新しい人間関係をつくり上げようと一人一人が努力した賜物だと思います。

さて、この夏にはパリオリンピック・パラリンピックが開催予定です。これまで想像を絶する鍛錬を積み重ねてきたアスリートの皆さんの活躍が今から楽しみでなりません。また、クーベルタンが唱えたオリンピック精神「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でより良い世界の実現に貢献すること」という視点も大切にしてほしいと考えています。

現代は人間の退行欲求としての「幼児化」、これが随所に表面化してきていると社会心理学者の加藤諦三氏は述べています。例えば、少子化さえも、結婚は愛の実現ではなく束縛であり子育ては負担であるという幼児化(退行欲求)が働いていると加藤氏は分析しています。今や成熟拒否の世界だと。幼児性とは、「それにふさわしい努力をしないで、それを手に入れたい願望」「保護と安全を希求し、負担から逃れたいとする渴望」「損か得かだけという視点の少なさ」「待てない、せっかちな問題解決」に現れるようです。そして、幼児性もつ不安から、人々は生きる意味がわからなくなってきたと言及しています。

子どもを育てていくうえで、アスリートの祭典のなかにメダルや記録以外に、何を見せたいか、何を考えさせたいか、こう考えることは我々大人の責任とも言えます。命の輝き、友情、連帯感、フェアプレー精神、生きる意味等々。

宮崎県中学校総合体育大会！宮崎県吹奏楽コンクール！！

宮崎県中学校総合体育大会は現在熱戦が繰り広げられています。これまで、柔道競技、ソフトテニス競技、水泳競技に綾中の生徒が参加しました。応援させてもらう中で、すべての競技において、選手が全力でプレーする姿や保護者の皆様の全力で応援する姿に感動を覚えました。また、先日は宮崎県吹奏楽コンクールに本校吹奏楽部が出場し、すばらしい演奏を披露してくれました。

7月21日には陸上競技、25日からはバドミントン競技に本校生徒が出場します。選手の皆さんの健闘を心から祈っています。これまでの結果を入賞者のみ掲載します。

柔道 ～個人の部～

(女子)

上野なずな 準優勝 (九州大会出場)

(男子)

才田 煌星 優勝 (全国大会出場)

佐藤 大峨 準優勝 (九州大会出場)

安藤 拓夢 3位

渡邊 湊 3位

佐藤 大護 優勝 (全国大会出場)

小田将之介 優勝 (全国大会出場)

東 琉海 優勝 (全国大会出場)

